

<b>地域産業</b>		<b>江本 伸哉</b>	
配当年次	2年次	配当学期	2学期
科目区分	アドバンスト		
単位数	2単位	必修・選択	選択
授業形態	講義		

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	○	日本の地域産業が直面する問題、課題について、十分な議論を行うことができる。
	実践知識		
技能	分析解決技能		
	実務技能		
	新規事業技能		
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度	○	地域リーダーとして主体的に行動をおこし、地域産業に関わる諸問題に積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

地域産業

※ 2013年度以降入学生が対象です。

### 授業の概要

まず前半で北九州経済圏の産業がどんな特性をもっているのかについて、その歴史的経緯、労働者気質、製造業・サービス業の比較を通じて包括的に学びます。何はともあれ、その産業集積を通じて北九州経済圏に多くの雇用と所得と消費と税収をもたらす地域の主導産業の変遷、課題とその解決法について、通説や思い込みを排して、データを基に客観的に学びます。

後半はケーススタディです。日本経済が少子高齢化に伴う生産年齢人口（15～64歳）の減少による内需の持続的縮小という厳しい現実と直面する中で、個別の九州・山口企業が生き残り成長維持を求めて実践しているアジア戦略について、10社の事例を紹介します。

北九州経済圏を含む九州・山口地区は、日本の中で最もアジアに近接するという地理的な優位性に恵まれているのは周知のとおりですが、掛け声だけでなく、その強みを本当に生かして成功している企業は意外に少ないのが実情です。こうした中で自社の経営資源を冷静に分析し、アジアを工場あるいは市場として位置づけて、果敢に事業を展開している企業を紹介します。

海外事業は国内とは異なり、様々な困難が伴いますが、それをどのように克服したのか。また、進出先のアジア主要国の経済の強みと泣き所についても解説します。

授業の進め方は、教員による一方的な講義に終始せず、受講生とのディスカッションの時間を設けます。多様な経験・知識をもつ社会人大学院生の皆さんによるアップデートな情報提供、リアルな質問、問題提起を大いに歓迎します。

授業の到達目標は以下の3点です。

- ① 北九州経済圏の産業特性とその課題を、その歴史的経緯や労働者気質、製造業・サービス業の比較に目配りしながら、大枠で理解すること
- ② 九州・山口企業の生き残り・成長維持の生命線であるアジア戦略のポイントを把握すること
- ③ ①、②で得られた知見から北九州経済圏での企業経営あるいは自治体経営に何が必要かを、自らの所属組織、職業に即して自分で考え、提案する力を身につけること

### 教科書

授業の度にプリントを配ります。それ以外に必要な場合は、その都度指示します。

### 参考書

- ・藤原利久・江本伸哉著『シームレス物流が切り開く東アジア新時代—九州・山口の新成長戦略—』（西日本新聞社、1,575円）
- ・九州経済調査会編『九州・山口企業の海外進出2016』（2017年2月、3,240円）
- ・同『九州経済白書2013年 アジア最前線 九州のグローバル戦略』（2013年2月、3,240円）
- ・経済産業省九州経済産業局編『九州経済国際化データ2016』（2016年7月、インターネットから入手可能）

<b>授業計画・内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① オリエンテーション (教員・院生自己紹介、授業の進め方について説明)</li> <li>② 北九州の産業特性 (1) 歴史的経緯 (軍都→鉄都→車都……北九州の近現代史から学ぶ)</li> <li>③ 北九州の産業特性 (2) 労働者気質 (炭鉱、製鉄所、自動車工場……我慢強い「協業」精神)</li> <li>④ 北九州の産業特性 (3) 製造業 (実は製造業は鉄も含めて、今もかなり頑張っている)</li> <li>⑤ 北九州の産業特性 (4) サービス業 (斜陽化の原因はサービス業の伸び悩み、カギは空港)</li> <li>⑥ 九州・山口企業とアジア戦略 (1) 辻利茶舗と台湾 (小倉発抹茶スイーツ海外進出第1号、台湾の生活水準)</li> <li>⑦ 九州・山口企業とアジア戦略 (2) 日産九州と韓国 (シームレス物流による韓国製部品の安価・迅速調達)</li> <li>⑧ 九州・山口企業とアジア戦略 (3) 味千ラーメンと中国 (中国・熊本への店舗集中と中国の都市化、個人消費)</li> <li>⑨ 九州・山口企業とアジア戦略 (4) TOTOと中国 (トップブランド確立と中国人の最高・最新製品志向)</li> <li>⑩ 九州・山口企業とアジア戦略 (5) 安川電機と中国 (あえてロボット現地生産、人口ボーナス消滅で需要拡大)</li> <li>⑪ 九州・山口企業とアジア戦略 (6) 日本タングステンとタイ (ASEAN随一の工業国タイで超硬工具・金型生産)</li> <li>⑫ 九州・山口企業とアジア戦略 (7) タカギとベトナム (China+1の筆頭国でコスト削減、小倉で人材育成)</li> <li>⑬ 九州・山口企業とアジア戦略 (8) 九州電力とインドネシア (地熱王国・九州での実績生かし、ネシアの電力不足に対応)</li> <li>⑭ 九州・山口企業とアジア戦略 (9) 黒崎播磨とインド (内需先細りの耐火煉瓦、鉄鋼増産見込むインドで成長)</li> <li>⑮ 九州・山口企業とアジア戦略 (10) ユニクロとバングラデシュ (宇部発祥・今も本社山口市、バングラ生産でBOP種まき)</li> </ul>
<b>成績評価の方法</b>	期末レポート50%、授業の取り組み姿勢50%

<b>事前・事後学習の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前は、上に掲げた参考書のほか、日本経済新聞の「九州経済面」や「アジア Biz 面」「企業面」、西日本新聞の「九州経済面」や「経済電子版 qBiz」などで九州やアジアの経済・経営情報に接することをお勧めします。</li> <li>・授業後は、院生各自の問題意識や興味に沿って、自分自身で調べて、自分なりの考えを深めることを強くお勧めします。ちなみに、期末レポートの課題は「授業の中であなたが最も関心をもった課題について、自由に調べ、自分なりの考えをまとめ、解決策を提案する」ことを予定しています。</li> </ul>
<b>履修上の注意</b>	積極的な発言を歓迎します。多様なバックグラウンド(人生経験、職業経験、知識)をもつ社会人大学院生の皆さんによるアップデートな情報提供、リアルな問題提起を大いに歓迎します。自分が直接見聞きした情報だけでなく、友人・知人、新聞・雑誌・ウェブなどメディアからの間接情報でも構いません。情報提供をお願いします。
<b>担当者からのメッセージ</b>	教員として最新のデータや事例を授業に採り入れるように努力します。院生の皆さんからも随時、情報を提供いただけると、よりリアルに地域産業の現状と課題を理解できると思います。
<b>キーワード</b>	地域の主導産業、産業構造、生産年齢人口、人口ボーナス・人口オーナス、ASEAN